

7. 新聞記事等

*新聞に募集記事

申日新聞 伊勢志摩版 7月18日朝刊

化率は45%を超える。近い将来で販売元。

申日新聞 伊勢志摩版 7月30日朝刊



A group of students, both boys and girls, are standing on the deck of a ship. They are wearing casual clothing like t-shirts and shorts. Some are looking towards the camera, while others are looking out at the sea. The ship's railing and some equipment are visible in the background.

A black and white photograph showing a group of people, including several young students and an older man in a striped shirt, gathered around a table. They appear to be working on or examining a small boat model. The setting looks like a classroom or workshop. A banner with Japanese text hangs in the background.



8. 故郷の海サロン

急ぎの募集です！ どうかご協力下さい。

2011年11月1日㈮
故郷の海を愛する会
会長 古川 善一

「故郷の海を愛する会」
イベント 参加者のご父兄 各位
秋も深まりましていかがお過ごしでしょうか？みなさまがたには大変ご無沙汰いたしております。
今までの活動に対してご理解賜りお子様のご参加いただきましたこと誠にありがとうございます。
このたび急なことですが「海学校」開催時に、これから活動に向けてそれぞれみなさまの意見を伺い
共に会を開いていけるよう精闘合意場を設けました。自由にお話をいただきながら次の事業などを考
えたいと思います。また「故郷の海を愛する会」会員として参加していただきたくご案内申し上げるこ
ころでございます。



期 日	平成23年11月13日(日曜日) 当日、海船学内において「海学校」開催中
場 所	鳥羽商船高等専門学校 百周年会館2階会議室において
名 称	第1回 故郷の海サロン 開催
テ マ	手打ちそばをたべて、おしゃべりしながら 「故郷の海を愛する会」の活動について 語る会
参 加 費	無料 サロン出席者は、手打ちそばをお召し上がりいただけます。
時 間	13:00~15:00まで (タイムスケジュール)
	12:45 愛河橋出 百周年会館 1階室内 長老庵 手打ちそば(参加者のみ)ふるまい ⇒ 2階 会議室へ移動
	13:00 会長あいさつ 故郷に海を愛する会は お買いなど見ながら おしゃべりをしながら
	13:50 ごんぶんペントがあつたらいいな〜。。。。
	14:30 爽やかな会になるには、どうするといい？
	14:40 一般会員について、募集したいと思いますが？
	14:50 まとめ とあいさつ

■お友達も参加して顶けます。お説明あわせてご参加下さい(申込み要)
お子様は学校内でお預りを承り、またサロン会場にも同席いただけます。

■参加申込は、鳥羽商船高等専門学校の海を愛する会 イベント事務局
0599-25-8045又は090-8320-9230 西間まで
締切 11日(金)午前中までにお返事下さい。

■回答までの「手打ちそば喰人の味」もお楽しみいただけるサービスです。

2011年11月13日、鳥羽商船高専の「海学校」に合わせ、第一回故郷の海サロンを同校百年記念館にて開催しました。

今後の会の運営の参考にさせて頂くために、故郷の海を愛する会の活動に参加した子供たちの保護者（母親）6名の方々に集まって頂き、故郷の海を愛する会の会長他事務局と現状と将来の方向について話し合い、会の運営に関し以下の様な貴重な意見を頂きました。

子供達 一度参加すると、二度三度と参加したいと希望する。

- ・親も参加すると、もたれあいになる事があるので、子供とは別グループにして貰った方がよい。



故郷の海を愛する会から
古川会長、三井会長代行、
川口副会長、塩野理事、
西岡事務局が参加しました。

*会としては子供達が他の学校の子供達と知り合い・友だちになる機会を作るために別々のグループにしたいと考えています。

保護者の参加は歓迎しますが、鳥羽丸などの定員の制限もあり今まで子供のみとしていました。

会 費

- ・¥500は複数の子供を参加させるには、助かります。
- ・保険と弁当代で¥1000ぐらいまでは良いのではないか。

- ・キャンプなど一泊の時は¥4000以上すると複数人参加するときはキツイので一人だけ参加としている。

- ・志摩自然学校のカヌーだけだと費用は大したことはない様だけどほかの事と組み合わせると高くなる。

*会としては¥1000程度の昼食に加えて飲み物、保険などを用意しているので今後は参加費を現状の¥500から¥1000としたい。

その他の

- ・親が参加すると、子供達の別の面を見ることがあって面白い。
- ・ボランティア参加の募集を、募集のリーフレット類に目立つように載せて貰えると判りやすい。

・夏休み前には色々な活動のパンフレットが配られるので、こぼれる可能性が大、配付の時期・工夫が必要（先生は一縷めにして子供達に渡す）

・写真を送ってもらえるのは、大変うれしいです。子供たちの様子がよく判って面白いです。家庭での話のタネになっています。他ではこちらのようには写真は送ってくれない。

- ・今後の活動について、別の団体とコラボレーションすることも考えてみる必要もあるのでは。

*会としてはこれらの意見を参考にして今後の活動にいかせたいと考えます。

9. 主催者の感想・反省

2011年度の応募状況が従来に比べ反応が良く、①、②回目は応募締め切り前に定員数の応募となりました。対象地域を少し広げた事、充分な時間を取りて募集活動をした事、活動の内容により多くの子供達・保護者に興味を持つてもらつた事、等が理由かと考えています。

日本財団の助成を得ておかげさまで本会の活動は3年目となりました。

「故郷の海を愛する会」のボランティア達はこのような活動についてまだまだ價れないところもありますが、少しは子供達がこれらの活動を通して船や海のこと少しあは分かってくれたと感じています。又、地域の人達にも理解が広まつたように思います。これらの活動を日本財団の助成を得ながら今後とも継続したいと考えています。

感想とか反省など。

1. 鳥羽丸では、2010年度は船が揺れたせいか船酔いにかかる子供たちが数名いましたが、2011年度は海も静かで問題はありませんでした。付添の看護師さんも手持ち無沙汰でした。子供達全員が元気に楽しんでくれて何よりでした。
2. 鳥羽丸では体験実習としてロープワークを習いましたが、楽しそうでした。
講師のようにうまくロープが結べなくて悔しそうにしている子供もいました。

船橋で本船乗組員の指導のもと、舵をとってみる事も樂しそうでした。

自分でやってみる事が個人の記憶に残るには大切と考えており、このような時間を確保したいと思っています。

3. 鳥羽丸は予定通り11：30にはユニバーサル造船所の岸壁に接岸しましたが、安全確保のため渡り桟橋の設置に時間を使い、正午過ぎの上陸となってしまいました。

造船所の作業員の方々の迷惑にならぬよう、正午には移動終了にしないといけません。

反省項目です。

4. 名古屋港での飛島コンテナ埠頭、太平洋フェリーの大型フェリーは子供達にとって初めて見るものばかりだったと思います。

飛島コンテナ埠頭では、広い敷地内を無線で動き回るコンテナ搬送車、ガントリーケーン、見えきれない大きなコンテナ、そして岸壁に接岸中の大型コンテナ船。

オペレーション室では自動コンテナ搬送車やガントリーケーンの遠隔無線操作を見学しました。日本でも最も進んだコンテナヤードを見る事が出来ました。幸いにも接岸中のコンテナ船の荷役が休みで、子供達はバスを降り、水際で大きなコンテナ船をまぢかに見る事が出来ました。その船を接岸させたパイロットさ

ん（鳥羽商船同窓生、本会理事）の説明を聞く事も出来ました。

太平洋フェリーの「いしかり」は2011年の3月に新造就航しましたが、東日本大震災の為、しばらく運航できず、やっと本格的に稼働を始めたばかりでした。

子供達は乗船してすぐに真新しいフェリーのきれいな食堂で「カレーライス」・「サラダ」・「フリードリンク」・「アイスクリーム」等の昼食をおいしく頂きました。御代わりする子供達続出です。太平洋フェリーに感謝します。

機関室は整備中の為、見学はできませんでしたが、客室、ラウンジ、船橋など船内を案内して頂き、子供達は楽しそうでした。

5. 名古屋港からの帰りのバスの中で親しげに話をしたり遊んでいる子供達がいました。

彼らは当日初めて会って、同じ班になった子供たちでした。友だち作りの場にもなったようでした。主催者としてうれしい事です。

6. 子供たちの安全には特別の注意を払いました。

鳥羽丸では看護士を乗船させ、緊急時に備えました。

暑い真夏の活動なので、熱中症にならぬよう、外での移動の際には帽子をかぶること、水分補給などをこまめに行うこと等に注意しました。

7. 参加者の募集について

昨年は募集活動が遅れた感じがあったので、2011年度は充分な時間を用意しました。

教育委員会から各学校に募集のポスターが届き、余裕を持って子供達に配布されたと思います。新聞社に「活動の案内と参加者募集中の記事」を掲載してもらいました。

これも影響したと思います。掲載して頂いた新聞社に感謝します。

終わりに

配布資料の提供など本活動に関し以下の団体、会社、学校にご協力をいただきました。
ありがとうございました。

- ・日本財団
- ・日本船主協会
- ・ユニバーサル造船所津事業所
- ・太平洋フェリー(株)
- ・伊勢市・鳥羽市・志摩市・松阪市・明和町・南伊勢町・玉城町 教育委員会、各小中学校
- ・鳥羽商船高等専門学校
- ・鳥羽海上保安部
- ・日本海事広報協会
- ・飛島コンテナ埠頭(株)
- ・鳥羽商工会議所

今後とも継続して同様の活動を行いたいと考えていますので、よろしくお願いします。

以上

平成24年1月21日
最終報告として作成 S.K



日本財團

助成事業

故郷の海を愛する会 2014